

授業科目 基礎理学療法治療学

【担当教員名】 黒川幸雄・非常勤講師・補助教員		対象学年	2	対象学科	理学
		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	60
＜一般目標：G I O＞ 1、理学療法の基礎的治療に関する知識と技術について学習する。					
＜行動目標：S B O＞ 1、運動療法の歴史、定義、対象・障害等と治療・指導方法等の知識・技術について説明ができる 2、運動療法の基本的な治療・指導方法等の技術について指導援助下で遂行できる。					
回数	授業計画又は学習の主題			SBO 番号	担当教員
1, 2	オリエンテーション、第1章 運動療法の概念				黒川
3, 4	第2章 運動療法の基礎（関節の構造と運動、筋収縮のメカニズム等）				黒川
5, 6	第2章 随意運動のメカニズム、運動制御と運動学習、運動と呼吸循環代謝				黒川
7, 8	第3章 組織の病態生理と修復				黒川
9, 10	第4章 運動の種類				黒川
11, 12	第5章 関節可動域運動（ROMex.） 頸部・体幹				黒川
13, 14	第5章 関節可動域運動（ROMex.） 上肢				黒川
15, 16	第5章 関節可動域運動（ROMex.） 下肢				黒川
17, 18、	MUNAKATAプログラム（日程は調整してクラスで連絡する）				宗形・黒川
19, 20	MUNAKATAプログラム（（日程は調整してクラスで連絡する）				宗形・黒川
21, 22	第5章 筋力増強運動				黒川
23, 24	第5章 筋力増強運動				黒川
25, 26	第5章 筋力増強運動				黒川
27, 28	第5章 持久力増強運動				黒川
29, 30	第5章 協調性運動、 まとめ等				黒川
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書		1、標準理学療法学 運動療法学総論・各論		医学書院	4700円
参考書					
その他の資料		随時配布			
【評価方法】 出欠、授業参加状況、レポート、実技試験、口頭試問、期末試験などを総合して評価する 履修上の留意点					